

# 静岡県月例経済報告

(令和4年10月号)

……令和4年8月を中心とした県内経済のすがた……

No. 558

— 静岡県経済産業部 —

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	7
・需要面 .....	7
・生産面 .....	15
・雇用面 .....	17
・その他 .....	20
III 静岡県主要産業の動向 .....	24
IV データからみた県内主要産業 .....	27

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和4年8月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概況

令和4年8月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症や供給面の制約等の影響が残るものの、基調としては持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される一方、新型コロナウイルス感染症の動向に十分注意する必要があるほか、物価高騰等が及ぼす影響に留意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きが続いている。

- ・ 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

## 需要面

### 「個人消費は、持ち直しの動きがみられる」

大型小売店販売額(8月)は、スーパーが5か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店が6か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(8月)は、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが5か月連続、ドラッグストアが16か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも8か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(8月)は、乗用車が12か月連続、軽自動車が14か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも14か月連続で前年実績を下回った。

### 「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(8月)は、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が8か月連続、貸家が3か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(8月)は、5か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「設備投資は、持ち直している」

日銀短観(6月調査)の令和4年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製

造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（8月）は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

#### 「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（8月）は、自動車の部分品が2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が6か月連続、エアコン、自動車、科学光学機器がいずれも3か月連続、二輪自動車類が10か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（8月）は、自動車の部分品が6か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品、紙類及び同製品がいずれも5か月連続、木材が18か月連続、パルプが17か月連続、原動機が19か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも19か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、811億円の輸出超過となった。

## 生産面

### 「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数（8月）は、業種別にみると、食料品・たばこが2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、化学がいずれも7か月ぶりに前年水準を上回ったため、総合でも2か月ぶりに前年水準を上回った。また、前月比は2か月ぶりに増加した。

なお、鉱工業在庫指数（8月）は、総合では2か月連続で前年水準を上回った。

## 雇用面

### 「雇用情勢は、改善の動きが続いている」

有効求人倍率（8月）は1.32倍となり、前月を0.01ポイント上回った。全国値と同水準となった。

雇用保険受給者実人員（8月）は、15か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（7月）は、8か月連続で前年実績を上回った。

## その他

### 「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（8月）は、前年同月比 0.3%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（8月）は、前年同月比 162.9%増と前年実績を上回った。

### 「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（9月）は、月件数は16件（前年同月比 6.6%増）、負債総額は1,240百万円（同 19.5%増）と、いずれも前年実績を上回った。

## <トピックス>

# 令和4年台風15号に伴う制度融資 「中小企業災害対策資金」・「農林水産業災害対策資金」

令和4年度台風第15号に伴い、県内の中小企業及び農林水産業者を対象に、資金の貸付を実施します。

### 「中小企業災害対策資金」

項目	内容	
	直接被害	間接被害
対象被害	事業用建物、設備、備品、商品等に実被害を受けたもの	実被害以外の影響で1か月間の売上が前年同月比で10%以上減少した又は減少する見込みのもの
資金使途	災害復興に必要な設備資金、運転資金	運転資金
保証料率 (保証料補助後)	(県内全域)普通保証：0.15%～0.60% (23市町)SN4号：0.00% ※	(県内全域)普通保証：0.30%～1.30% (23市町)SN4号：0.60% ※
融資利率及び 利用する保証	年1.6%：普通保証（県内全域） 年1.5%：SN4号（23市町）※	※近日中に告示
融資限度額	5,000万円	
融資期間	10年以内（据置期間1年以内）	
取扱期間	令和4年9月27日からSN保証4号の適用期限（告示日から3ヶ月後）まで	
お問い合わせ先	商工金融課（054-221-2525）	

### 「農林水産業災害対策資金」

項目	内容
対象被害	令和4年台風第15号に伴う大雨等による災害（対象地区：全県）
対象者	1 被災後1月間に農林水産業による総収入額（以下「農業等収入額」という）が、被災前5年間の各年の被災後1月間に相当する期間における農業等収入額について、最大及び最小の年を除いた各年の農業等収入額の合計額を3で除して得た額と比較して10パーセント以上減少した者 2 農林水産業に係る被害額が20万円以上の者
資金使途	・経営安定のための運転資金      ・生活維持に必要な資金
融資利率	0.60%（令和4年9月20日現在） * 県の利子補給承認時と融資機関の貸付実行時を比較して低い方の利率を適用
償還期限	5年以内（うち据置期間1年以内）
融資限度額	・運転資金：個人1,000万円、法人2,000万円      ・生活維持資金：個人300万円
取扱金融機関	静岡県信用農業協同組合連合会、県内の農業協同組合、東日本信用漁業協同組合連合会静岡支店
償還方法	元本均等年賦償還
取扱期間	令和4年9月27日から令和5年3月31日まで
お問い合わせ先	農業：農業ビジネス課(054-221-2629) 水産業：水産振興課(054-221-2694) 林業：林業振興課(054-221-2667)

その他支援策はこちら：<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-sien/taihu15.html>

## 中小企業者等物価高騰緊急対策事業

コロナ禍における物価高騰の影響を受ける中小企業者等の事業継続を支援するため、**価格転嫁やコスト削減の取組を支援**します。

区分	内容
対象者	物価高騰の影響を受ける中小企業・小規模事業者等 (農林水産業者・フリーランス・企業組合等も含む) ※中小企業支援法第2条第1項第1号～第4号に該当
対象となる経費	次のいずれかの目的に資する経費 ①価格転嫁に関すること 新たな販路開拓・取引先への営業力強化等 (具体例) ○顧客開拓に向けた展示会への参加 ②コスト削減に関すること 業務効率化・光熱費削減等 (具体例) ○帳簿の電子化(インボイス対応) ○省エネ機器の導入による光熱費削減
補助率	2 / 3 以内
補助上限	50万円
募集期間	令和4年11月28日～令和4年12月23日 ※予算の都合により、締め切り前に受付を終了する場合があります。

お問い合わせ先  
(11月1日～)

中小企業者等物価高騰対策補助金事務局  
コールセンター (0570-055-023)  
(9時～17時 土日・祝日を除く)

## <トピックス>

事業継続・強化

# 燃油・飼料価格高騰による購入費用の増加に対する助成

令和4年6月補正で、燃油・飼料価格高騰に対する対象期間を拡大しました。申請等に関する詳細は、順次公開しますのでご確認ください。

<b>荒茶工場燃油価格高騰緊急対策事業費助成</b>	<b>区 分</b>	<b>内 容</b>	<b>お問い合わせ先</b>
	対象者	茶工場	お茶振興課 054-221-2674
	対象経費	基準価格を超えた燃油代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年4月～10月	
	申請先	県内各農業協同組合	
申請期間	令和4年8月29日～11月30日		
<b>飼料価格高騰緊急対策事業費助成</b>	<b>区 分</b>	<b>内 容</b>	<b>お問い合わせ先</b>
	対象者	畜産農家	畜産振興課 054-221-2706
	対象経費	基準価格を超えた飼料代ほか	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年7月～9月	
	申請先	静岡県配合飼料価格安定基金協会等	
	申請期間	令和4年12月～令和5年1月(予定)	
備 考	自家配合飼料を使用する畜産農家(国のセーフティネット制度未加入者を含む)も対象		
<b>漁業用燃油価格等高騰緊急対策事業費助成</b>	<b>区 分</b>	<b>内 容</b>	<b>お問い合わせ先</b>
	対象者	漁業者、養殖業者	水産振興課 054-221-2695
	対象経費	基準価格を超えた燃油代、飼料代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年7月～9月	
	申請先	静岡県漁業協同組合連合会	
申請期間	7～9月分：令和4年11月1日～12月9日		

国のセーフティネット制度に加入することが要件です。

**お問い合わせ先**

上記の各お問い合わせ先参照

# <トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

## ① 県制度融資の申込状況

(R4年10月24日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～ 3	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R4.3.31】	億円 697	件 4,186	建設業29.7%、卸小売業18.1%、製造業15.5%、飲食業8.7%、運輸業3.7%、宿泊・旅行業2.1%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R4.3.31】	億円 278	件 1,776	建設業24.5%、卸小売業21.1%、製造業20.2%、飲食業9.5%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業3.2%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R4.3.31】	億円 14	件 53	製造業60.4%、卸小売業17.0%、建設業11.3%、運輸業11.3%
R4	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R4.4.1～】	億円 87	件 937	建設業37.8%、卸小売業19.3%、製造業13.7%、飲食業5.2%、運輸業3.5%、宿泊・旅行業0.4%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R4.4.1～】	億円 133	件 905	建設業29.1%、卸小売業21.0%、製造業19.3%、飲食業10.5%、運輸業3.2%、宿泊・旅行業2.1%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R4.4.1～】	億円 5	件 28	製造業42.9%、建設業17.9%、飲食業14.3%、卸小売業10.7%、宿泊・旅行業3.6%等
計		億円 11,612	件 69,709	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

## ② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R3年 10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
農・林・ 漁・鉱業	▲15.8	8.6	45.8	▲6.6	43.0	24.8	▲16.7	66.1	26.4	6.8	46.3	5.6
建設業	1.4	6.4	4.1	8.6	2.3	9.4	4.7	4.8	12.7	2.4	▲2.0	3.9
製造業	29.4	45.9	42.2	32.6	39.0	33.0	16.6	19.7	22.8	8.1	10.7	10.6
卸売・小売業	14.6	13.7	10.3	12.6	18.1	20.8	19.2	21.3	50.1	16.7	28.2	46.6
金融、保険 不動産業	▲35.6	35.7	9.7	21.4	13.3	21.3	5.9	8.5	34.5	15.1	▲4.0	31.5
運輸業	23.5	1.8	31.2	36.0	14.1	▲3.7	28.2	13.3	3.7	19.3	▲0.5	13.2
情報通信業	2.8	▲5.4	▲9.6	7.6	▲6.8	2.7	38.2	▲14.6	1.5	▲4.3	▲2.2	▲5.4
飲食、宿泊 サービス業他	26.2	17.5	17.8	28.3	28.2	10.3	23.1	18.9	22.7	8.3	29.4	16.9
県全体	13.5	17.8	15.2	15.6	20.1	10.8	15.3	16.2	14.7	9.2	13.9	14.3

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

## ③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R3年 10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
農・林・ 漁・鉱業	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1
建設業	4	7	6	3	1	6	2	2	3	0	1	3
製造業	4	2	2	1	1	3	3	7	4	1	2	3
卸売・小売業	4	2	1	0	1	4	5	3	4	1	1	3
金融、保険 不動産業	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1
運輸業	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0
情報通信業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
飲食、宿泊 サービス業他	6	5	3	3	2	2	8	4	3	3	3	4
県全体	20	19	13	8	7	16	19	18	15	5	9	16
うちコロナ 関連倒産	2	1	5	2	3	5	6	4	2	2	6	8

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)



## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

8月 = 36,445百万円

\*前年同月比： 1.6%増

(県内3百貨店、153スーパー合計)

<概況>

8月の大型小売店販売額は36,445百万円で、前年同月比 1.6%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 0.4%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店（同 18.0%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、飲食料品（同 0.4%減）が2か月ぶり、家庭用品（同 2.9%減）が16か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 14.9%増）が3か月ぶり、身の回り品（同 14.9%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は2.1%増と、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額(百万円)	37,583	33,491	36,202	34,604	36,374	35,424	37,045	36,445
前年同月比(%)	0.9	2.2	0.5	0.4	0.3	▲1.5	0.2	1.6
うち百貨店(%)	8.0	▲2.7	0.9	6.5	13.5	1.8	2.7	18.0
スーパー(%)	▲0.4	3.0	0.4	▲0.6	▲1.7	▲2.1	▲0.2	▲0.4
(参考1)全国前年同月比(%)	2.6	0.1	1.5	4.0	8.5	1.3	2.8	3.8
うち百貨店(%)	15.4	▲0.8	4.4	18.6	56.0	11.6	9.4	25.4
スーパー(%)	▲1.0	0.4	0.4	▲0.3	▲2.0	▲2.1	0.5	▲1.4
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	1.4	2.2	0.3	1.2	1.0	▲1.0	0.5	2.1

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
衣料品	4.8	▲11.9	3.5	3.1	4.6	▲2.7	▲1.4	14.9
うち紳士服・洋品	6.2	▲10.8	5.3	3.4	8.0	▲2.7	1.2	12.8
うち婦人・子供服・洋品	4.8	▲11.8	1.9	2.0	3.9	▲3.6	▲1.4	17.6
身の回り品	2.8	▲12.2	▲1.7	5.3	6.5	▲3.0	0.5	14.9
飲食料品	▲0.1	3.8	▲0.1	▲0.5	▲0.8	▲2.1	0.2	▲0.4
家庭用品	▲2.4	▲1.2	▲3.9	▲3.6	▲7.3	▲6.6	▲7.4	▲2.9
うち家庭用電気機械器具	▲7.4	▲7.0	▲2.1	▲5.4	▲10.2	▲0.5	▲10.2	▲5.1

(注)店舗数調整済、全月速報値

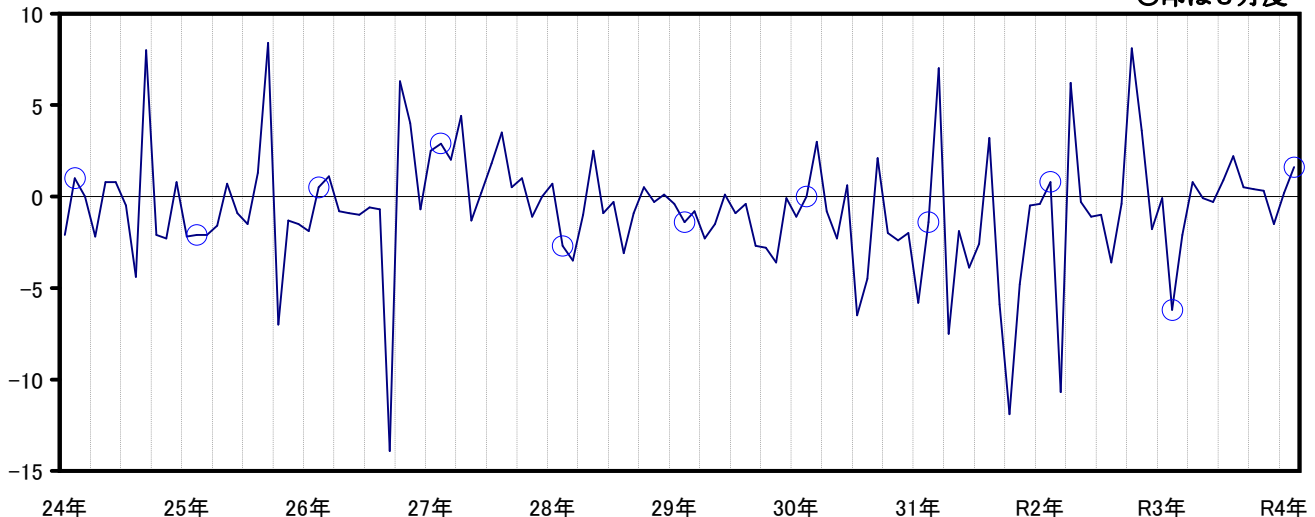
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は8月度



## (2) 専門量販店等販売額

8月 = 79,103百万円

\*前年同月比：4.6%増

(県内93家電大型専門店、1,677コンビニエンスストア、576ドラッグストア、108ホームセンター合計)

### <概況>

8月の専門量販店等販売額は79,103百万円で、前年同月比4.6%増となり、8か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(前年同月比3.5%減)、ホームセンター(同0.9%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア(同6.9%増)が5か月連続、ドラッグストア(同6.5%増)が16か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額(百万円)	72,289	65,067	76,072	71,394	74,404	73,672	79,845	79,103
前年同月比(%)	2.7	1.6	2.4	1.4	1.2	3.4	3.3	4.6
うち家電大型専門店(%)	▲5.2	▲3.2	3.6	▲1.3	▲9.5	3.1	▲2.4	▲3.5
コンビニエンスストア(%)	2.5	0.5	▲2.2	1.4	3.5	4.0	3.5	6.9
ドラッグストア(%)	8.2	6.2	8.0	4.2	3.7	3.8	7.1	6.5
ホームセンター(%)	▲2.9	▲3.7	0.0	▲4.0	▲1.7	1.0	▲2.1	▲0.9
(参考)全国前年同月比(%)	2.0	0.8	2.2	2.0	0.9	3.2	2.4	3.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

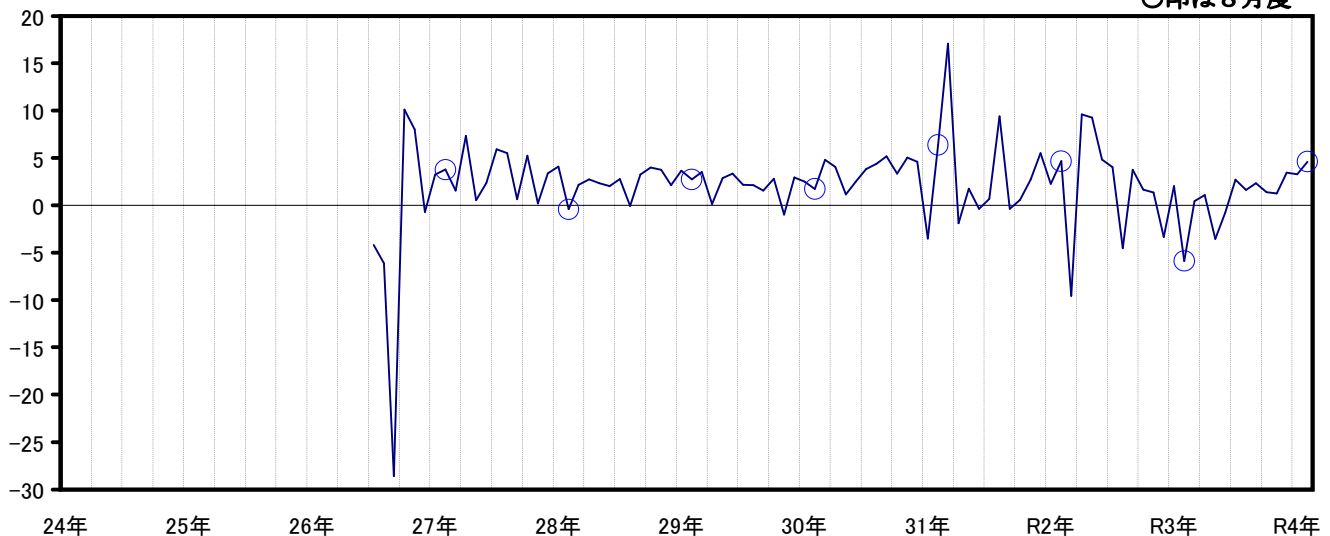
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

### <過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は8月度



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

8月 = 9,874 台

\*前年同月比： 10.3%減

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

8月の自動車(新車)新規登録台数は9,874台(前年同月比 10.3%減)と、14か月連続で前年実績を下回った。  
 車種別にみると、乗用車(前年同月比 12.8%減)が12か月連続、軽自動車(同 7.4%減)が14か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
登録台数(台)	12,545	13,414	18,091	10,225	9,191	11,368	11,924	9,874
前年同月比(%)	▲ 15.1	▲ 17.4	▲ 16.9	▲ 18.2	▲ 14.7	▲ 8.0	▲ 11.2	▲ 10.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 16.1	▲ 19.9	▲ 16.5	▲ 15.3	▲ 19.0	▲ 9.6	▲ 6.9	▲ 11.2

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

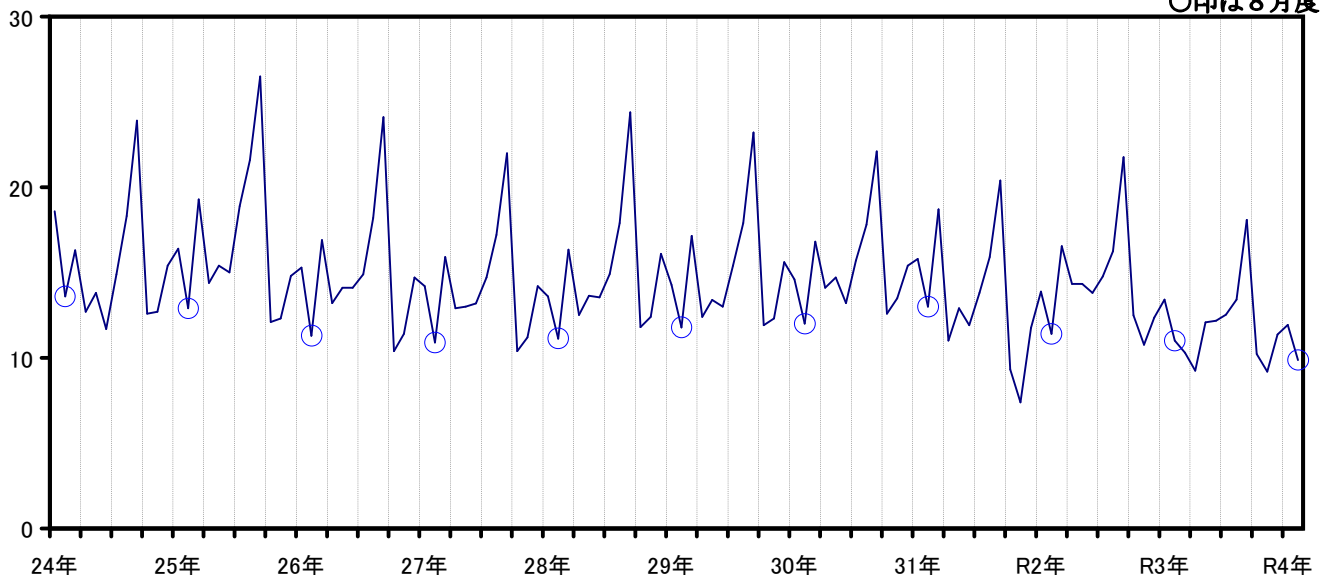
	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全乗用車	▲ 15.1	▲ 17.4	▲ 16.9	▲ 18.2	▲ 14.7	▲ 8.0	▲ 11.2	▲ 10.3
乗用車	▲ 16.3	▲ 21.6	▲ 16.9	▲ 26.0	▲ 16.8	▲ 10.6	▲ 15.7	▲ 12.8
軽自動車	▲ 13.8	▲ 13.0	▲ 16.9	▲ 9.9	▲ 12.6	▲ 5.2	▲ 6.0	▲ 7.4

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課  
○印は8月度



(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

8月 = 1,730 戸

\*前年同月比： 3.5%減

### <概況>

8月の新設住宅着工戸数は1,730戸で、前年同月比 3.5%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。  
 利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 3.0%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 2.1%減）が8か月連続、貸家（同 10.0%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

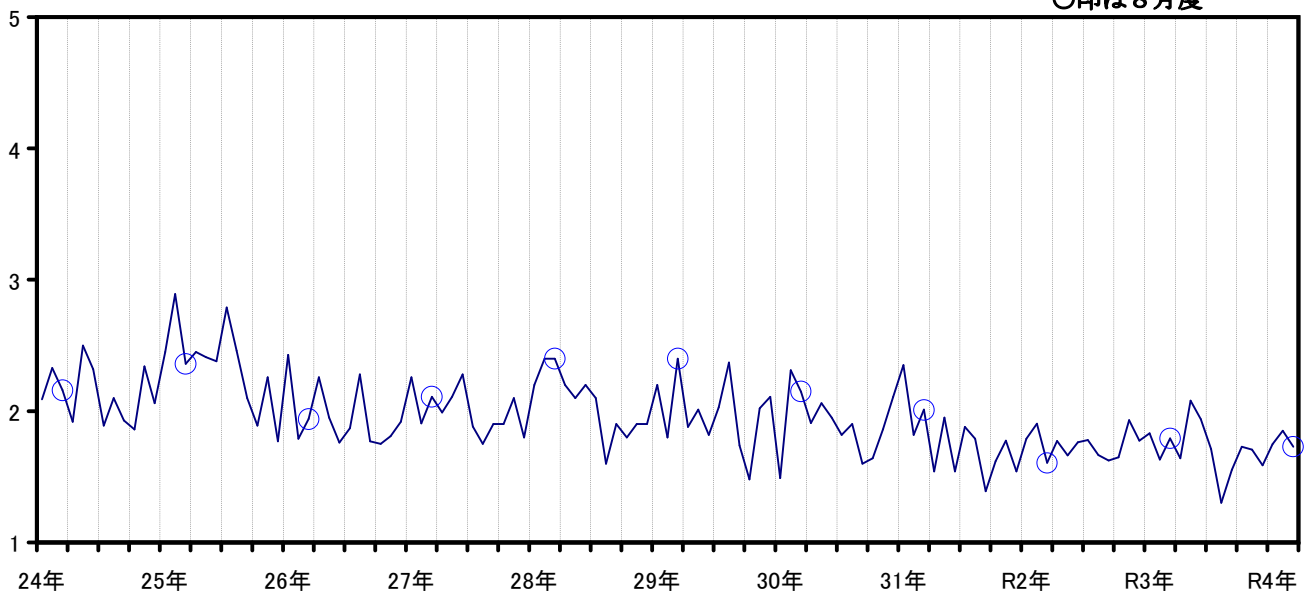
	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
戸数 (戸)	1,301	1,551	1,731	1,706	1,587	1,748	1,852	1,730
前年同月比 (%)	▲ 21.9	▲ 4.6	5.0	▲ 11.7	▲ 10.6	▲ 4.5	13.5	▲ 3.5
うち持家 (%)	▲ 21.1	▲ 6.7	▲ 2.7	▲ 17.0	▲ 4.0	▲ 12.7	▲ 6.2	▲ 2.1
貸家 (%)	▲ 29.9	▲ 0.7	4.5	▲ 20.7	▲ 24.8	3.5	92.0	▲ 10.0
分譲住宅 (%)	▲ 16.0	▲ 4.3	31.6	22.4	0.0	5.7	▲ 12.8	3.0
(参考)全国前年同月比 (%)	2.1	6.3	6.0	2.2	▲ 4.3	▲ 2.2	▲ 5.4	4.6

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課  
 ○印は8月度



### 3 公共工事請負金額

8月 = 36,867百万円

\*前年同月比：21.2%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

8月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は36,867百万円で、前年同月比21.2%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は807件で、前年同月比4.0%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
金額(百万円)	13,879	11,865	25,996	53,327	30,010	33,505	30,400	36,867
前年同月比(%)	45.7	57.8	18.9	▲5.8	▲27.9	▲18.6	▲15.4	21.2
年度累計前年同月比(%)	▲13.0	▲11.6	▲10.0	▲5.8	▲15.2	▲16.2	▲16.0	▲10.5
件数(件)	236	207	482	519	522	769	730	807
前年同月比(%)	▲6.7	31.0	4.8	▲24.5	▲12.4	▲0.8	▲13.4	4.0
年度累計前年同月比(%)	▲2.7	▲1.9	▲1.5	▲24.5	▲18.9	▲12.1	▲12.4	▲9.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

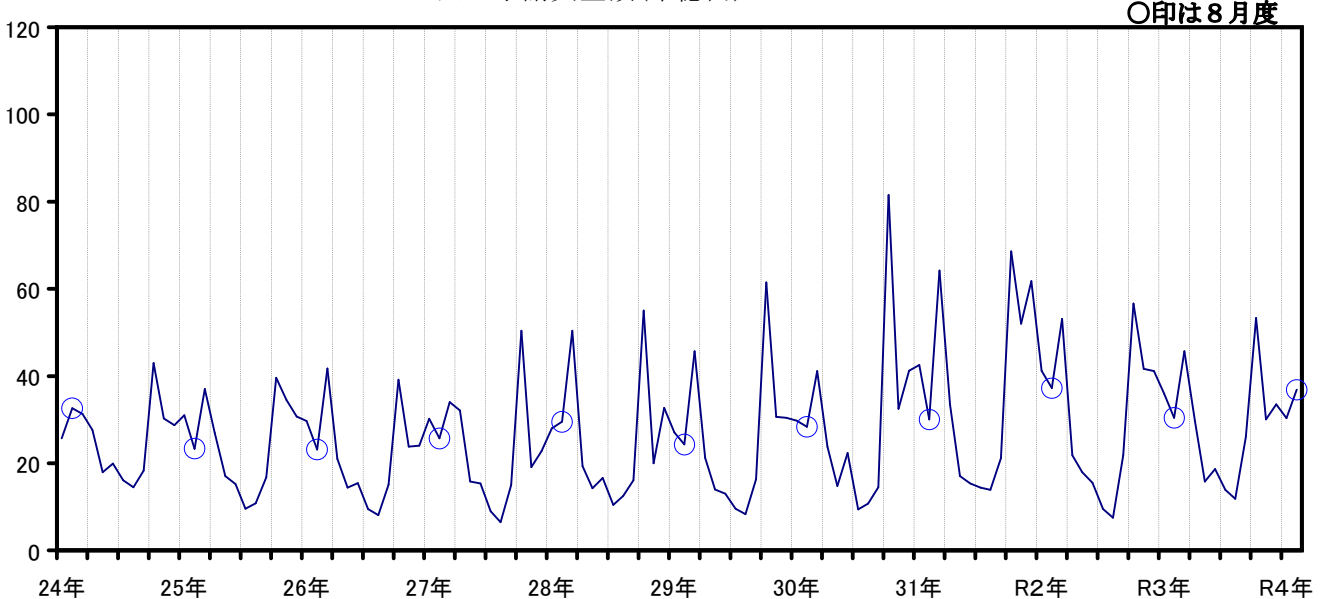
	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国	14.6	14.0	51.5	▲14.7	▲38.7	▲63.9	▲51.4	▲21.4
独立行政法人等	72.3	-	940.7	84.7	▲53.2	▲37.3	▲8.6	312.4
県	9.4	59.9	▲18.4	▲16.0	▲13.1	4.7	▲23.3	12.2
市町	▲13.6	113.3	9.9	▲18.2	▲2.3	1.5	6.6	0.3
地方公社	-	-	-	▲90.4	-	▲19.0	206.6	118.2
その他	243.1	▲22.7	54.0	71.5	▲53.7	68.4	▲28.5	231.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

令和3年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加した。

令和4年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 48.5%増）、非製造業（同 13.7%増）、全産業（同 31.4%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 28.5%増）、非製造業（同 16.1%増）、全産業（同 25.2%増）においていずれも増加する計画となっている。

8月の着工建築物床面積（非居住用）は85,171㎡で、前年同月比 37.3%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	(▲5.4) ▲1.4	(7.4) 31.4
	全国	(▲5.1) ▲0.8	(7.4) 14.1
製造業	県	(▲9.8) 8.8	(14.3) 48.5
	全国	(▲6.1) 1.1	(3.8) 20.5
非製造業	県	(▲0.3) ▲10.1	(▲0.8) 13.7
	全国	(▲4.6) ▲1.9	(9.8) 10.5

### （ ）内は前回調査比修正率) ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	(▲6.1) 1.9	(7.2) 25.2
	全国	(▲3.8) 1.2	(5.5) 13.1
製造業	県	(▲7.7) 6.0	(9.8) 28.5
	全国	(▲3.4) 2.9	(3.7) 14.6
非製造業	県	(▲1.2) ▲8.0	(▲0.3) 16.1
	全国	(▲4.2) ▲0.7	(7.6) 11.5

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和4年6月調査)」

### <最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	94,343	66,037	97,183	99,878	130,880	106,649	245,468	85,171
前年同月比（%）	34.6	▲4.4	▲17.2	7.3	97.4	▲7.2	126.6	▲37.3
(参考) 全国前年同月比（%）	▲3.8	11.0	▲15.1	15.6	▲8.4	12.0	22.0	27.0

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料> 国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R4年3月	R4年6月	R4年9月 (予測)
全産業	全産業	▲5	▲6	▲1
	製造業	▲5	▲12	▲7
	非製造業	▲5	0	4
(参考) 全国・全産業		0	2	▲1

(注4) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年6月調査)」

5 輸出

8 月 = 209,152百万円

\*前年同月比： 8.8%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

8月の清水税関支署管内の輸出総額は209,152百万円で、前年同月比 8.8%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 4.5%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 69.1%増）が6か月連続、エアコン（同 85.1%増）、自動車（同 7.7%増）、科学光学機器（同 40.6%増）がいずれも3か月連続、二輪自動車類（同 35.0%増）が10か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、EU向け（同 3.3%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 0.1%増）が6か月ぶり、米国向け（同 34.1%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸出総額(百万円)	157,955	185,214	228,526	214,017	182,437	224,345	229,506	209,152
前年同月比(%)	▲6.3	▲4.6	3.1	5.7	▲8.2	3.2	6.5	8.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
原動機	27.4	▲8.1	17.5	40.2	9.2	40.5	45.5	69.1
エアコン	▲30.8	1.8	14.5	33.9	▲0.2	18.6	73.3	85.1
自動車	▲12.8	▲35.7	▲39.4	2.3	▲24.3	70.7	6.3	7.7
自動車の部分品	▲3.0	17.0	29.8	22.0	1.2	4.5	▲19.2	▲4.5
二輪自動車類	49.4	5.1	32.3	32.8	8.6	16.8	64.7	35.0
科学光学機器	13.7	11.8	29.9	24.5	▲7.4	22.9	0.1	40.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
アジア	▲19.2	8.0	▲3.4	▲6.4	▲7.1	▲6.6	▲5.7	0.1
米国	10.6	▲8.9	29.1	42.8	▲2.8	30.3	29.1	34.1
EU	▲3.2	▲22.7	▲5.8	▲4.0	▲26.2	0.2	20.0	▲3.3

<資料>清水税関支署

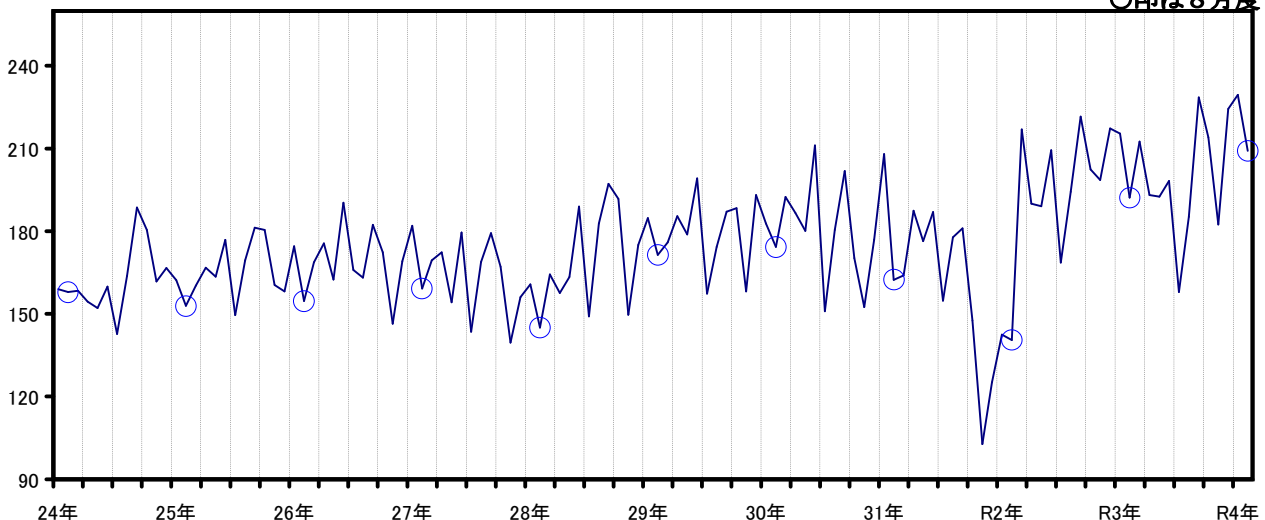
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は8月度



## 6 輸入

8月 = 128,047百万円

\*前年同月比： 41.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

8月の清水税関支署管内の輸入総額は128,047百万円で、前年同月比 41.3%増となり、19か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 20.1%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 27.2%増）、紙類及び同製品（同 5.0%増）がいずれも5か月連続、木材（同 43.5%増）が18か月連続、パルプ（同 92.9%増）が17か月連続、原動機（同 63.1%増）が19か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 36.6%増）が5か月連続、米国から（同 20.5%増）が4か月連続、EUから（同 44.1%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸入総額(百万円)	104,107	97,614	110,295	138,439	123,731	134,545	120,776	128,047
前年同月比(%)	29.2	21.8	3.4	36.4	31.8	35.2	18.7	41.3

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
魚介類及び同調製品	▲ 13.2	37.8	▲ 2.6	65.0	15.0	96.0	24.7	27.2
木材	79.1	76.2	25.0	37.7	77.1	59.6	29.9	43.5
パルプ	63.6	44.2	92.7	49.5	65.1	33.4	36.3	92.9
紙類及び同製品	18.4	20.2	▲ 17.2	1.6	15.2	24.2	43.2	5.0
原動機	224.1	66.5	162.2	89.5	49.7	74.6	21.1	63.1
自動車の部分品	▲ 47.6	0.4	▲ 26.5	▲ 16.5	▲ 7.6	▲ 44.2	▲ 8.5	▲ 20.1

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

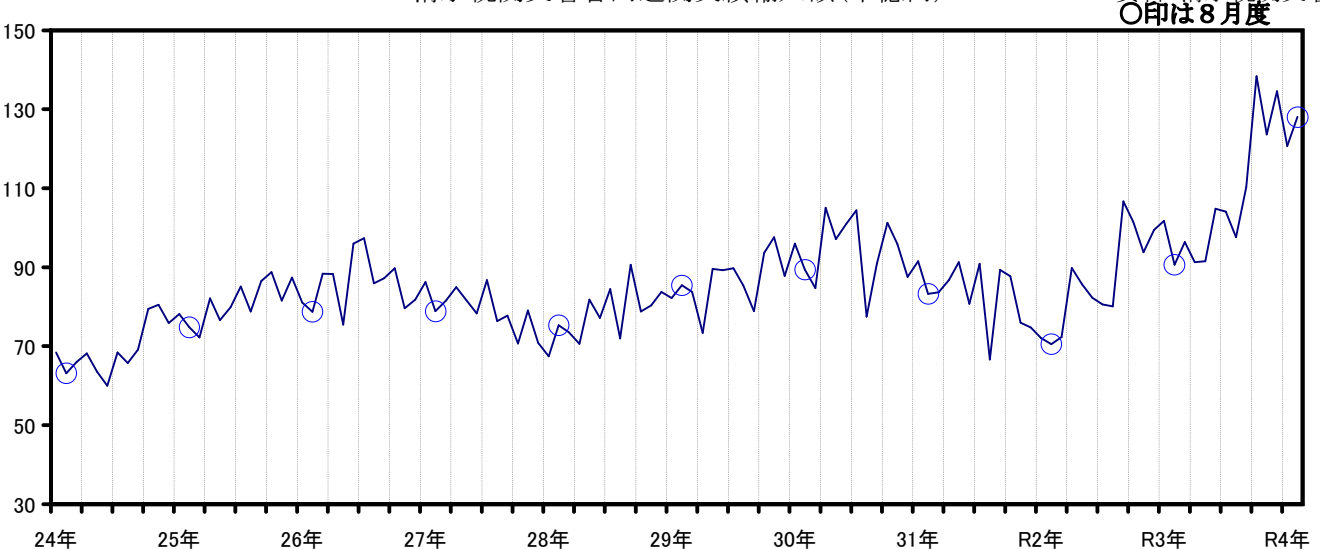
	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
アジア	29.2	15.5	▲ 3.9	18.2	47.4	15.2	21.4	36.6
米国	10.5	20.9	13.1	▲ 7.3	2.4	61.0	31.9	20.5
EU	23.3	60.8	31.3	102.4	▲ 1.8	53.3	9.0	44.1

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署





# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

8月 = 96.4

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 5.2%増

\*前年同月比(原指数) : 9.1%増

#### <概況>

8月の鉱工業生産指数(総合)は96.4(季節調整済指数)で、前月比は5.2%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は9.1%増と、2か月ぶりに前年水準を上回った。業種別にみると、食料品・たばこ(前年同月比 3.6%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 14.5%増)、化学(同 5.2%増)がいずれも7か月ぶり、電気機械(同 11.8%増)が2か月連続、輸送機械(同 20.1%増)が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 2.6%増)が2か月ぶりに前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	85.1	88.8	89.7	92.3	81.3	94.4	91.6	96.4
前月比(%)	▲1.6	4.3	1.0	2.9	▲11.9	16.1	▲3.0	5.2
前年同月比(%)	▲8.6	▲3.1	▲8.0	▲11.9	▲8.3	0.5	▲0.7	9.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.5	0.5	▲1.7	▲4.9	▲3.1	▲2.8	▲2.0	5.8

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	3.8	▲12.2	▲8.0	▲9.9	▲15.0	▲0.2	▲17.1	14.5
電気機械工業	▲9.7	▲7.0	▲5.6	▲22.6	▲30.0	▲15.4	14.0	11.8
輸送機械工業	▲26.3	▲1.4	▲14.6	▲15.8	▲3.4	8.9	9.9	20.1
化学工業	6.4	▲6.5	▲5.4	▲18.7	▲2.0	▲4.1	▲6.8	5.2
パルプ・紙・紙加工品工業	1.8	1.6	1.3	1.4	2.7	4.4	▲2.3	2.6
食料品・たばこ工業	5.2	9.1	▲2.2	0.1	▲8.1	11.3	▲10.8	▲3.6

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

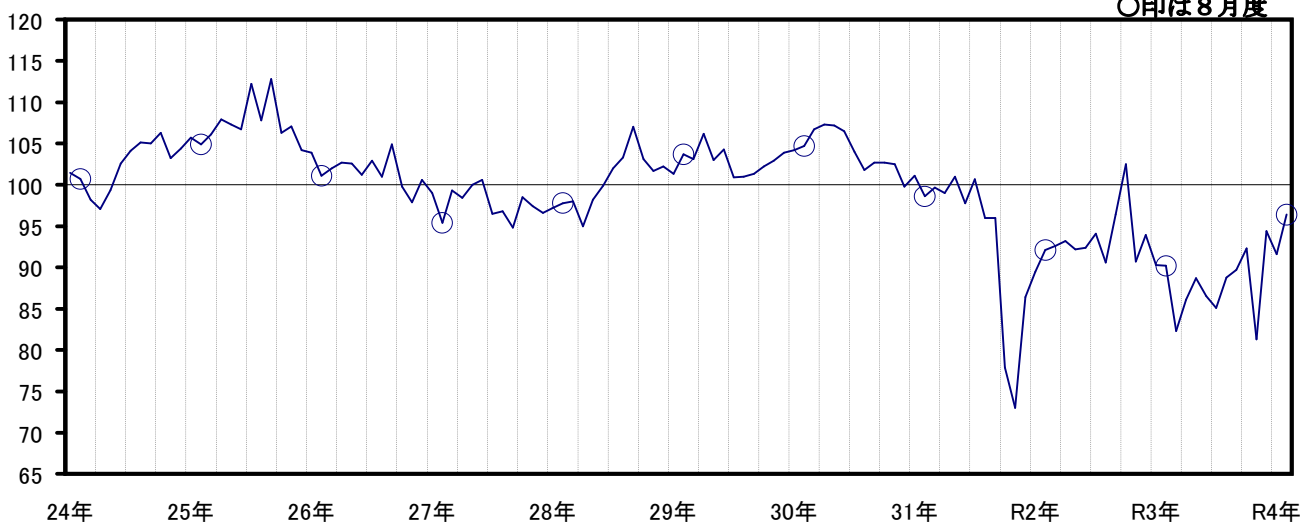
<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は8月度



(2) 鋳工業在庫指数

8 月 = 106.3

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\* 前月比(季節調整済指数) : 0.5%増

\* 前年同月比(原指数) : 5.0%増

<概況>

8月の鋳工業在庫指数(総合)は106.3(季節調整済指数)で、前月比は0.5%増と、2か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は5.0%増と、2か月連続で前年水準を上回った。  
 なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。  
 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 26.5%減)が7か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 3.4%減)が15か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同 16.5%増)、輸送機械(同 53.5%増)がいずれも3か月連続、化学(同 3.1%増)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同 3.4%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	99.9	103.3	100.7	106.4	105.8	101.8	105.8	106.3
前月比(%)	▲ 1.2	3.4	▲ 2.5	5.7	▲ 0.6	▲ 3.8	3.9	0.5
前年同月比(%)	▲ 6.3	▲ 3.4	0.0	1.1	3.6	▲ 0.8	6.5	5.0
(参考)全国前年同月比(%)	4.6	7.1	6.8	4.1	3.8	4.2	5.1	5.9

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.0	▲ 23.8	▲ 26.9	▲ 26.1	▲ 28.3	▲ 19.8	▲ 23.9	▲ 26.5
電気機械工業	2.7	2.5	▲ 5.2	3.0	▲ 1.0	1.9	6.6	16.5
輸送機械工業	▲ 46.8	5.2	8.5	▲ 13.0	▲ 3.6	4.3	38.2	53.5
化学工業	▲ 6.1	▲ 8.9	10.6	▲ 2.6	8.4	4.1	▲ 6.3	3.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 2.0	▲ 6.4	▲ 9.2	▲ 7.1	▲ 4.7	▲ 1.2	▲ 1.9	▲ 3.4
食料品・たばこ工業	▲ 2.3	3.3	5.4	26.9	28.3	▲ 1.3	43.0	3.4

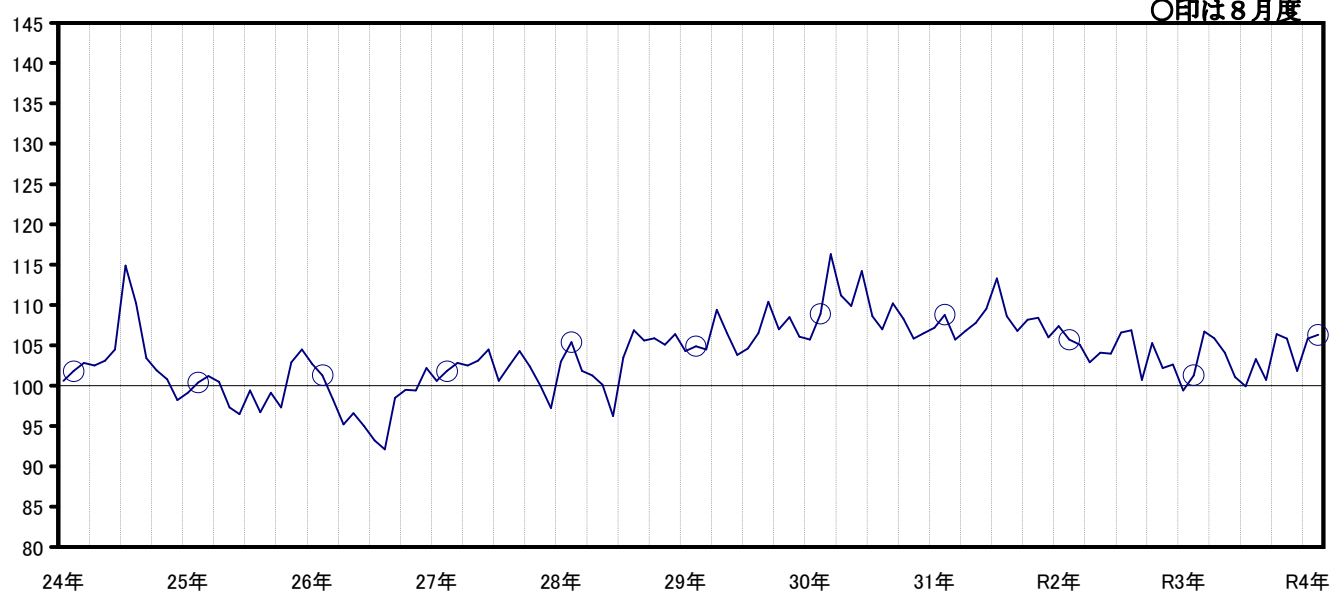
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**8 月 = 1.32倍**

\*前月比 (季節調整値) : 0.01ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

#### <概 況>

8月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.32倍となり、前月を0.01ポイント上回った。19か月連続で1倍台となった。また、全国値と同水準となった。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比10.6%増)は17か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比0.1%減)が23か月ぶり、情報通信業(同10.5%減)が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、製造業(同9.6%増)が19か月連続、運輸業・郵便業(同1.0%増)が5か月連続、卸売業・小売業(同24.5%増)が15か月連続、医療・福祉(同5.9%増)が18か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同15.4%増)が2か月ぶりに前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

(単位:倍)

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
県	1.18	1.21	1.24	1.27	1.28	1.31	1.31	1.32
全 国	1.20	1.21	1.22	1.23	1.24	1.27	1.29	1.32

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建設業	8.3	3.8	8.5	7.8	7.7	11.0	3.0	▲0.1
製造業	33.4	38.1	41.0	14.7	13.8	21.7	7.4	9.6
情報通信業	8.2	▲10.7	▲2.2	50.0	▲20.6	8.7	6.5	▲10.5
運輸業・郵便業	24.3	13.8	▲4.6	14.6	8.7	7.0	7.1	1.0
卸売業・小売業	25.7	13.1	22.8	29.4	14.3	58.0	18.0	24.5
医療・福祉	8.2	21.6	8.3	14.9	14.4	1.5	3.2	5.9
サービス業(他に分類されないもの)	24.7	20.4	14.6	20.1	6.6	7.9	▲7.3	15.4
合 計	17.1	20.2	12.9	15.7	10.6	14.6	5.2	10.6

(注)学卒、パートタイムを除く

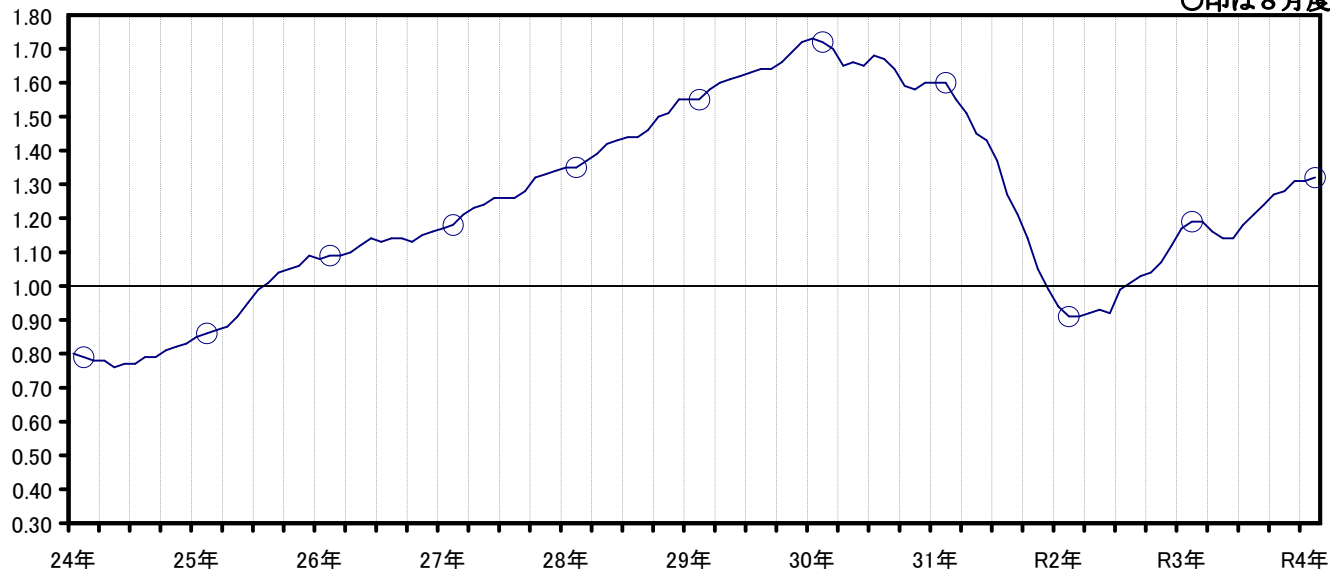
<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は8月度



(2) 雇用保険受給者実人員

8月 = 12,557人

\*前月比: 5.1%増

\*前年同月比: 4.2%減

<概況>

8月の雇用保険受給者実人員は12,557人で、前月比は5.1%増と、4か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は4.2%減と15か月連続で前年実績を下回った。  
 完全失業率(全国)は2.5%と前月から0.1ポイント改善した。  
 静岡県(令和4年4~6月)の完全失業率は2.5%で、前期(令和4年1~3月)から0.3ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
実人員(人)	11,015	10,541	10,594	10,011	10,377	11,498	11,952	12,557
前月比(%)	▲1.6	▲4.3	0.5	▲5.5	3.7	10.8	3.9	5.1
前年同月比(%)	▲17.5	▲15.7	▲15.4	▲17.6	▲14.1	▲10.7	▲9.3	▲4.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲11.6	▲13.9	▲15.2	▲15.8	▲10.7	▲11.1	▲9.6	▲4.4

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
完全失業率(全国)(%)	2.8	2.7	2.6	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5

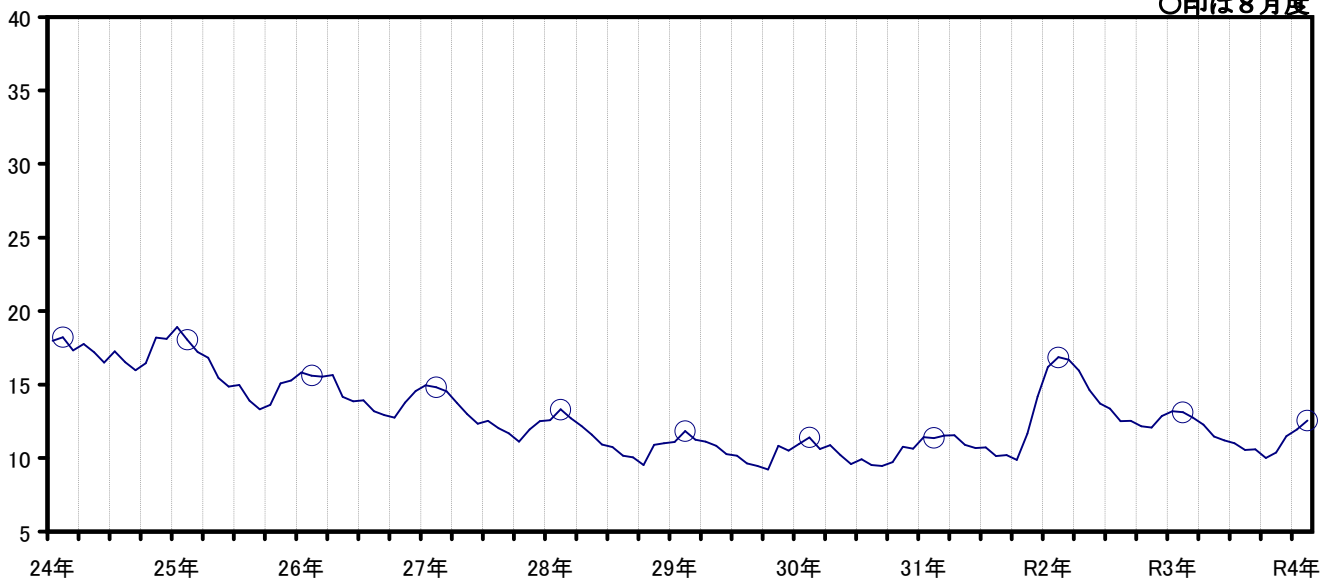
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省  
○印は8月度



### (3) 所定外労働時間指数

7月 = 117.6

\*前月比(季節調整済指数): 1.2%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 4.8%増

#### <概況>

7月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は117.6(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は4.8%増と、8か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比52.4%増)が9か月連続、運輸業・郵便業(同9.9%増)が4か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同0.6%増)が8か月連続、情報通信業(同13.5%増)が2か月連続、卸売業・小売業(同1.6%増)が13か月連続、医療・福祉(同10.2%増)が7か月連続、その他のサービス業(同35.8%増)が4か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	104.9	114.8	116.6	113.3	115.6	120.9	119.0	117.6
前月比(%)	2.8	9.4	1.6	▲2.8	2.0	4.6	▲1.6	▲1.2
前年同月比(%)	4.5	11.3	18.6	6.4	5.4	13.1	9.9	4.8
(参考)全国前年同月比(%)	7.0	7.1	7.0	4.9	6.4	5.1	5.9	1.4

\*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建設業	▲24.5	▲16.2	▲12.3	▲33.8	▲37.8	▲26.5	▲26.4	▲52.4
製造業	3.7	13.4	14.4	7.5	2.0	3.8	2.3	0.6
情報通信業	▲11.8	1.6	▲17.7	0.4	▲19.3	▲2.9	0.7	13.5
運輸業・郵便業	34.6	▲17.7	0.7	0.4	▲4.5	▲7.1	▲7.5	▲9.9
卸売業・小売業	29.2	60.8	28.0	11.2	38.1	71.5	41.5	1.6
医療・福祉	▲5.7	13.2	34.0	25.1	12.5	21.1	11.2	10.2
その他のサービス業	25.7	31.4	48.1	▲13.6	8.5	34.9	44.7	35.8
調査産業計	4.5	11.3	18.6	6.4	5.4	13.1	9.9	4.8

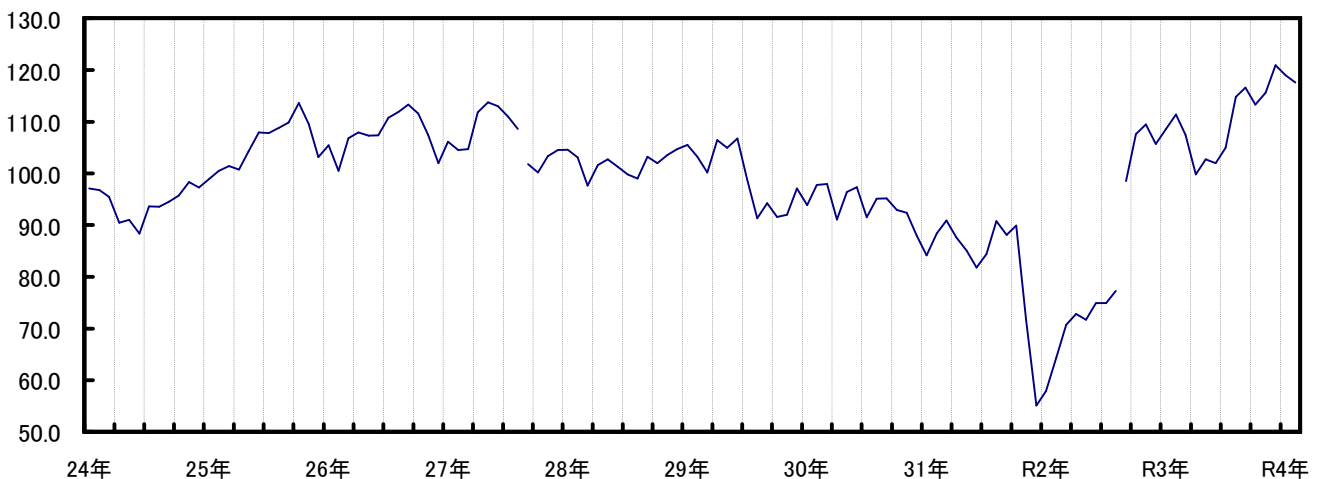
\*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

9 月 = 116.3

\*前 月 比: 0.7%上昇

(令和2年=100)

\*前年同月比: 9.7%上昇

#### <概 況>

9月の国内企業物価指数は116.3となり、前月比は0.7%の上昇となった。また、前年同月比は9.7%の上昇となった。

	R 4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国内企業物価指数	110.3	111.4	113.1	113.1	114.2	115.0	115.5	116.3
前 月 比 (%)	0.8	1.0	1.5	0.0	1.0	0.7	0.4	0.7
前年同月比 (%)	9.4	9.4	9.8	9.2	9.5	9.1	9.4	9.7

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

8 月 = 142,664億円

\*前 月 比: 0.0%増

(銀行、信用金庫)

\*前年同月比: 0.3%減

#### <概 況>

8月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,664億円で、前月比は0.0%の増加となった。また、前年同月比は0.3%の減少となった。

	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出残高(億円)	142,566	142,439	142,425	142,184	142,065	142,433	142,647	142,664
前 月 比 (%)	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 0.1	0.3	0.2	0.0
前年同月比 (%)	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 0.3

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

8 月 = 1.322%

\*前 月 差: 0.007ポイント減

(県内地銀4行総平均)

\*前年同月差: 0.081ポイント減

#### <概 況>

8月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.322%で、前月から0.007ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.081ポイントのマイナスとなった。

	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出約定金利 (%)	1.370	1.364	1.355	1.349	1.344	1.334	1.329	1.322
前月差(ポイント)	▲ 0.003	▲ 0.006	▲ 0.009	▲ 0.006	▲ 0.005	▲ 0.010	▲ 0.005	▲ 0.007
前年同月差(ポイント)	▲ 0.064	▲ 0.066	▲ 0.070	▲ 0.071	▲ 0.072	▲ 0.075	▲ 0.077	▲ 0.081

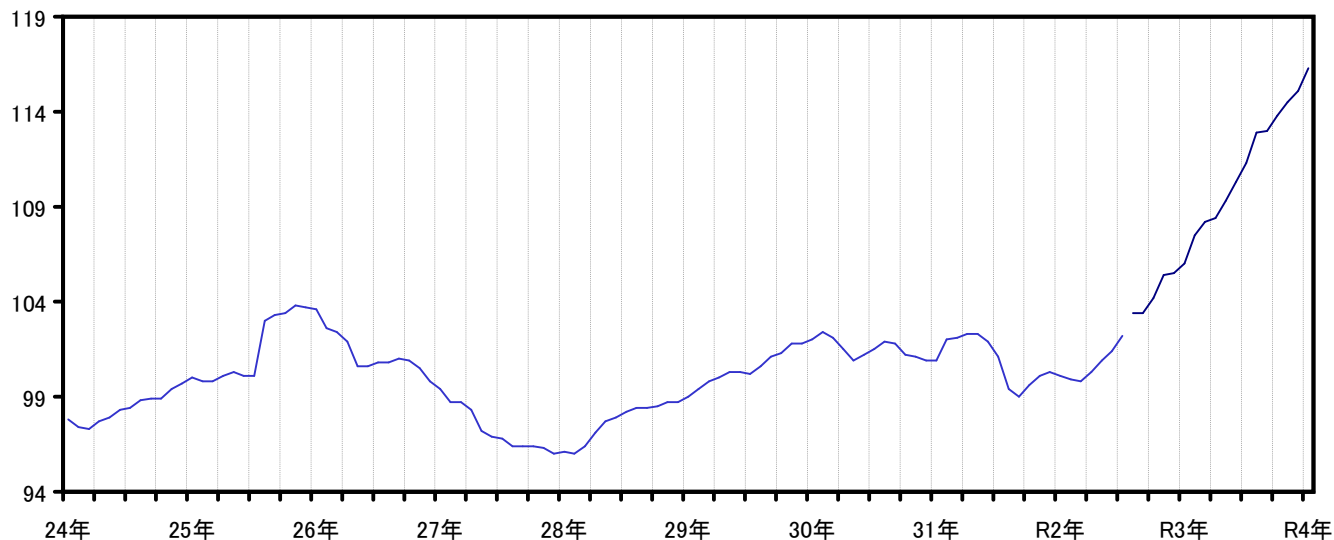
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

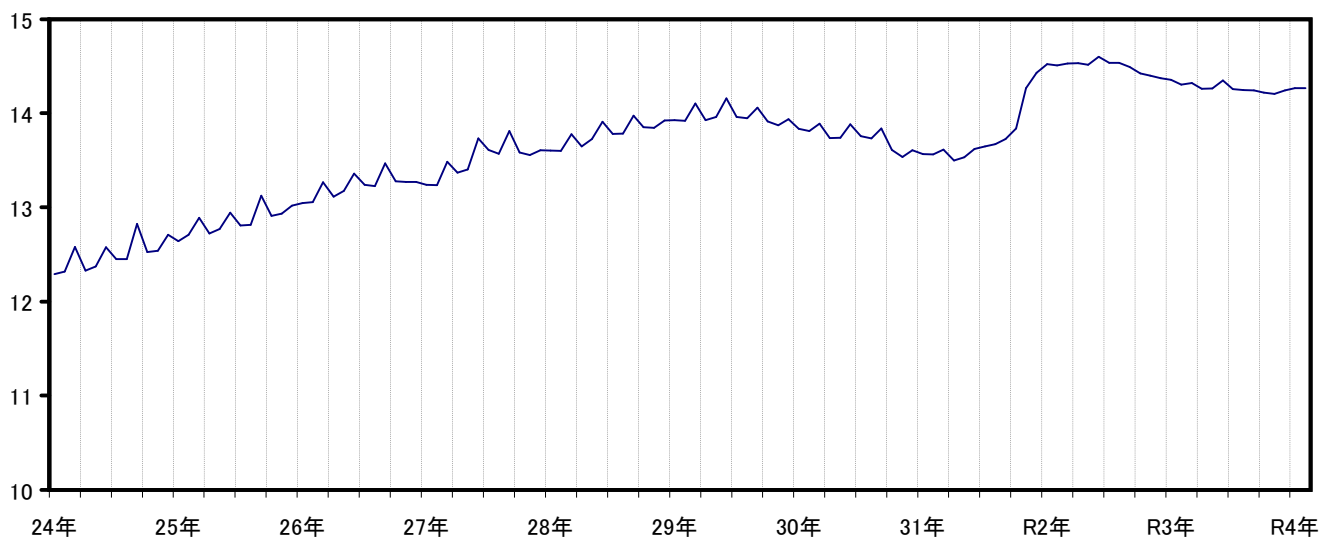
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



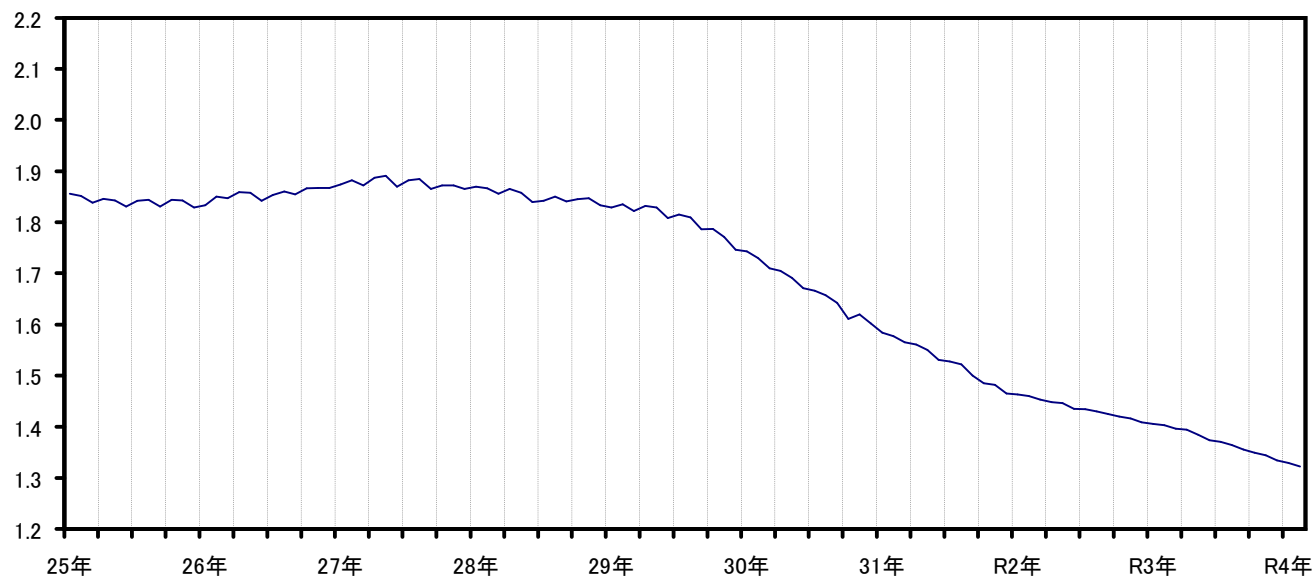
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****8月 = 25,425百万円**

\*前年同月比：162.9%増

## &lt;概況&gt;

8月の保証承諾は、金額は25,425百万円（前年同月比162.9%増）、件数は1,959件（同119.7%増）と、いずれも30か月連続で前年実績を上回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
保証金額（百万円）	13,162	17,160	26,609	32,414	34,448	33,533	23,461	25,425
前年同月比（%）	44.8	23.1	22.2	91.9	282.7	229.2	165.5	162.9
保証件数（件）	1,279	1,611	2,390	1,696	1,898	2,030	1,740	1,959
前年同月比（%）	46.2	30.2	30.1	60.7	158.6	132.9	123.8	119.7

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****9月 = 143.14円/ドル**

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前月差：7.90円安

\*前年同月差：32.97円安

## &lt;概況&gt;

9月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は143.14円で、前月と比べて7.90円の円安となり、2か月ぶりに円安となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平均相場（円）	115.20	118.51	126.04	128.78	133.86	136.63	135.24	143.14
前月差（円）	0.37	3.31	7.53	2.74	5.08	2.77	▲1.39	7.90
前年同月差（円）	9.84	9.86	16.91	19.59	23.75	26.34	25.40	32.97

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****9月 = 16件**

\*前年同月比：6.6%増

## &lt;概況&gt;

9月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は16件（前年同月比6.6%増）、負債総額は1,240百万円（同19.5%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が14件と全体の87.5%を占め、2か月連続で50%以上となっている。

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
倒産件数（件）	7	16	19	18	15	5	9	16
前年同月比（%）	▲46.1	▲11.1	5.5	20.0	15.3	▲61.5	12.5	6.6
うち不況型倒産件数（件）	6	14	14	13	11	2	7	14
負債総額（百万円）	746	1,507	5,953	1,875	1,935	175	2,080	1,240
前年同月比（%）	▲76.3	▲47.0	96.5	▲24.7	25.3	▲86.1	149.1	19.5

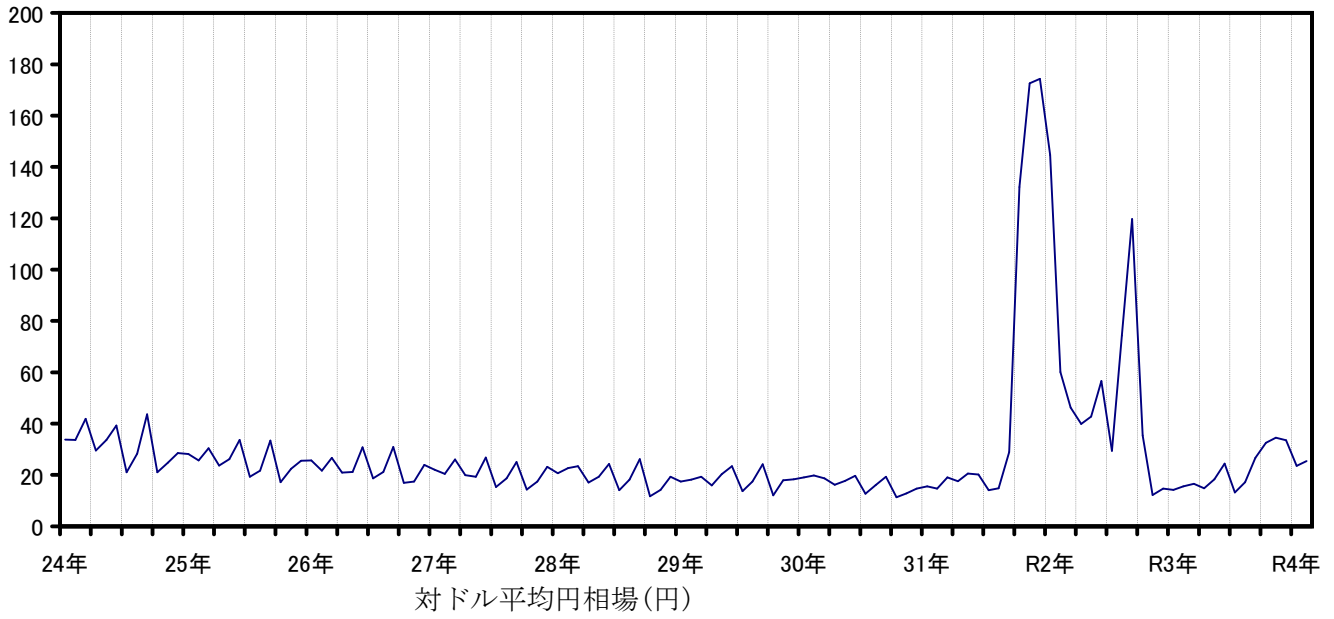
&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社



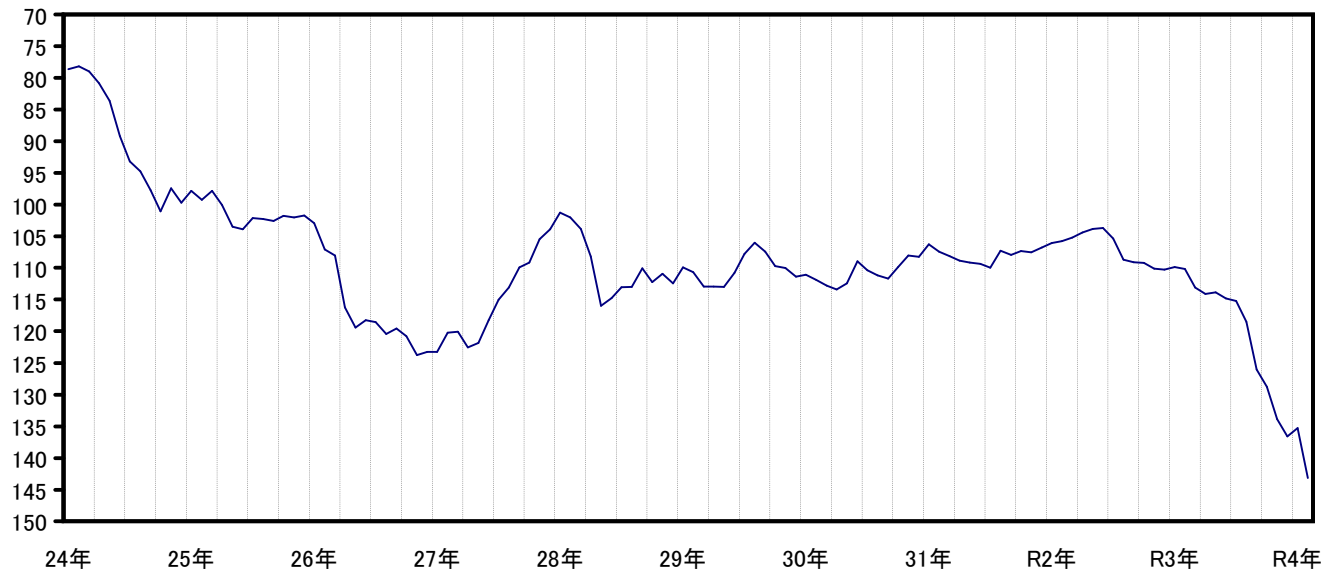
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

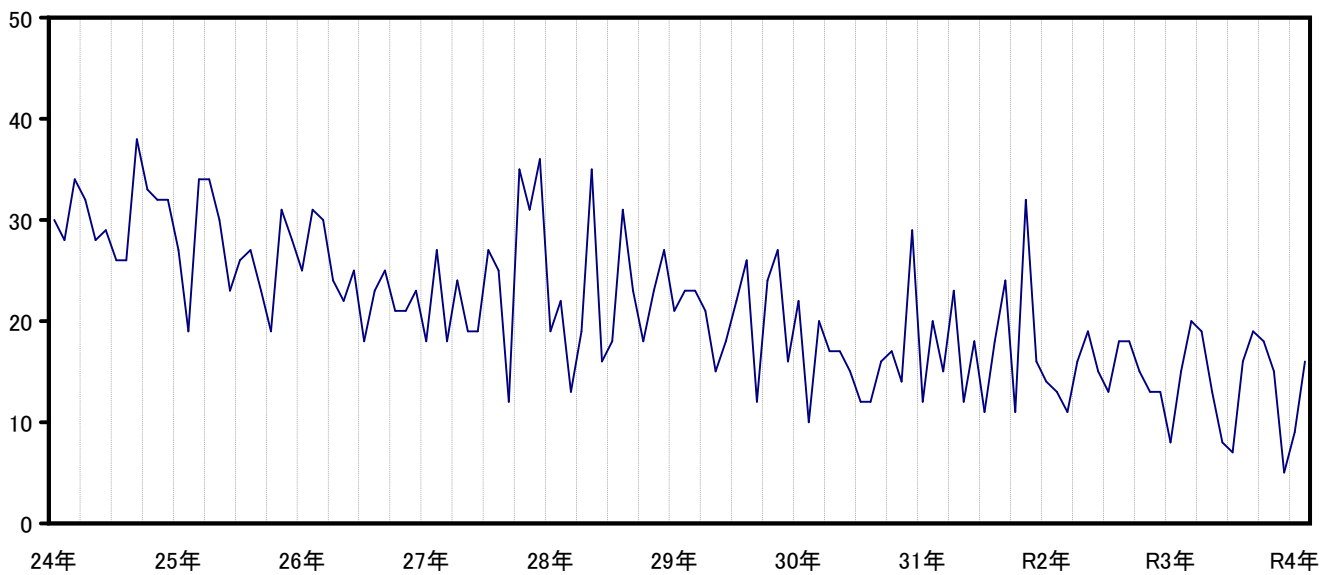


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 令和4年8月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>7月の国内二輪車生産台数は、60,369台（前年同月比 4.8%増）で、7か月ぶりに前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、13,260台（同 0.2%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、5,970台（同 2.8%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,689台（同 5.4%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、35,450台（同 10.0%増）で、7か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、24,231台（同 36.0%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、36,457台（同 6.1%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>7月の自動車国内生産台数は、699,708台（前年同月比 4.2%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。輸出は356,957台（同 4.8%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が12か月連続、トラックが5か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>8月の冷蔵庫の国内出荷額は413億円（前年同月比 13.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は337千台（同 8.7%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>8月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは769千台（同 21.0%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は74千台（同 7.7%増）で、8か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>8月の携帯電話の国内出荷台数は、694千台（同 30.4%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、558千台（同 24.9%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は80.4%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>8月の工作機械の受注総額は、1,393億2,700万円（前年同月比 10.7%増）で、22か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は875億5,200万円（同 7.7%増）で、22か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが437億2,600万円（同 21.7%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。内需は517億7,500万円（同 16.2%増）で、18か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「原材料費、特に電力料金の値上がりが見込み以上で、今後も値上げが続く予測から、収益性確保に厳しさが増している。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

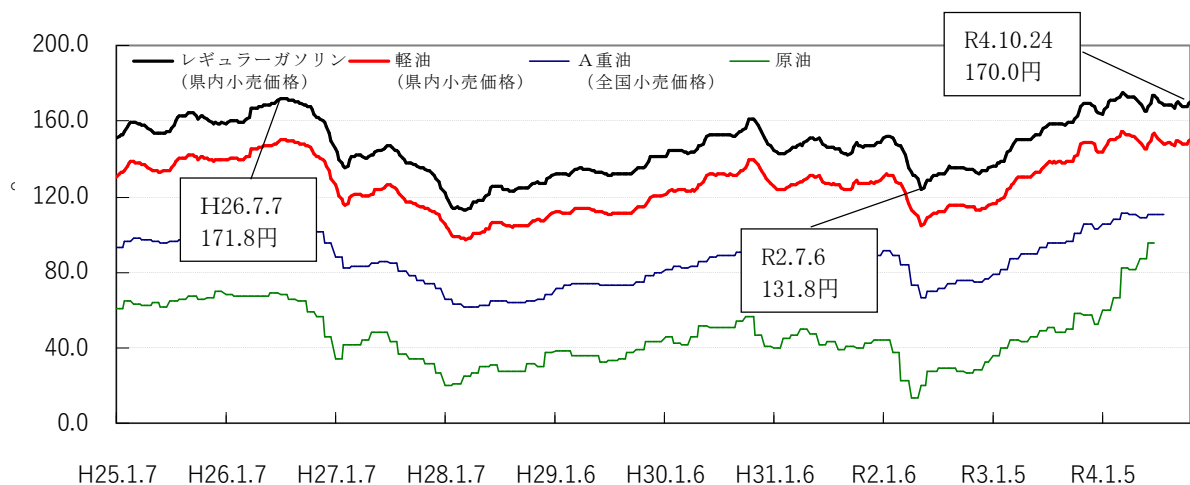
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>8月の県内楽器メーカーの販売金額は、52億8,462万円（前年同月比17.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが30億6,960万円（同17.4%増）で、国内向けが22億1,503万円（同18.6%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,680台（同8.5%減）であった。機種別では、アップライトピアノが1,886台（同6.9%減）、グランドピアノが794台（同12.2%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,364台（同4.5%増）、国内向けが1,090台（同23.3%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>8月の紙・板紙の国内出荷高は、1,766千トン（前年同月比2.8%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、紙は849千トン（同0.2%増）で、5か月ぶりに前年実績を上回った。板紙は917千トン（同5.3%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、447千トン（同1.1%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、152千トン（同6.3%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>8月の県内生産量は、食缶類が国内向け981千箱（前年同月比0.6%増）と5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は699千箱（同1.7%増）と4か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は456千箱（同4.7%減）と、18か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は282千箱（同2.1%減）と3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,545千箱（同2.0%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>8月の広幅織物の県内生産は、680千㎡（前年同月比17.5%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、622千㎡（同15.7%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、59千㎡（同39.3%増）で、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、14千㎡（同5.9%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>8月の全国百貨店での家具販売額は、38億826万円（前年同月比14.4%増）と5か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、561億4,335万円（同0.7%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>8月の県内百貨店・スーパーの販売額は、36,445百万円（既存店前年同月比 1.6%増）と前年実績を上回った。品目別に見ると、飲食料品、家庭用品が前年実績を下回ったものの、衣料品、身の回り品が前年実績を上回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げが減少したが、来客数は前年並みだった。特に、精肉や鮮魚の売上げが不調だった。また、仕入価格の高騰により、販売価格が上昇したため、売上げが減少した。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、旅行業や衣料品の売上げが好調だった。また、お盆休みは、帰省客や家族連れで多くの来客があった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、衣料品や雑貨（美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。また、明確に買いたい物があって来店する客が多く、購買意欲も高いため、客単価が増加した。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和4年8月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約46万人で、前年同月比 72.4%増となった。</p> <p>本年8月は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等が発令されなかったことから、昨年度よりも増加していると考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線※<sup>1</sup>）の合計通行車両数は、約71万台となり、前年同月比 15.6%増となった。</p> <p>※1 令和元年10月から（遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化）。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー170.0円/Lと、平成26年7月以来の高水準。



出典：石油情報センター

## Ⅳ データからみた県内主要産業

### <二輪車>

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
完成車生産台数(台)	25,792	21,054	27,056	27,994	23,172	17,058	26,716	27,659	26,711
前年同月比(%)	46.2	▲ 0.9	7.5	▲ 5.2	▲ 2.7	2.4	16.9	22.4	28.2
KD輸出額(百万円)	1,504	1,433	1,621	1,940	1,931	1,132	890	988	906
前年同月比(%)	▲ 5.4	2.5	▲ 4.0	39.0	40.3	44.3	▲ 16.6	▲ 15.3	▲ 2.2

### <楽 器>

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産総額(百万円)	2,964	2,788	2,922	3,233	3,126	2,667	3,177	3,207	2,582
前年同月比(%)	4.1	29.2	7.6	7.7	▲ 0.2	1.8	▲ 4.6	4.6	0.7

### <缶 詰>

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
食缶生産高(千ケース)	880	883	936	1,030	1,053	936	1,089	1,010	981
前年同月比(%)	▲ 8.3	6.6	2.6	1.7	▲ 1.0	▲ 3.1	▲ 2.5	▲ 1.6	0.6
うち水産缶詰(%)	▲ 4.2	4.7	2.9	2.1	1.4	▲ 5.0	▲ 2.6	▲ 0.8	1.7
農畜産缶詰(%)	▲ 16.9	10.7	1.7	0.9	▲ 6.3	1.8	▲ 2.3	▲ 3.6	▲ 2.1
飲料缶生産高(千ケース)	5,511	4,720	6,091	7,432	7,057	7,686	7,918	7,926	7,545
前年同月比(%)	▲ 9.8	1.3	18.0	▲ 4.3	▲ 13.9	▲ 2.3	5.9	3.0	▲ 2.0

### <織 維>

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
広幅織物(千㎡)	765	747	659	768	728	677	739	736	680
前年同月比(%)	5.0	▲ 5.1	▲ 12.0	7.6	3.5	2.3	8.2	10.8	17.5
小幅織物(千㎡)	14	15	16	17	17	17	17	15	14
前年同月比(%)	▲ 28.1	▲ 26.8	▲ 12.5	▲ 6.8	▲ 3.8	13.5	6.9	7.4	5.9

### <観 光>

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,707	1,299	989	1,498	1,377	1,465	1,202	1,693	2,387
前年同月比(%)	19.5	81.8	40.7	22.6	32.9	33.8	30.8	23.3	44.4
観光施設(10施設)入込 (千人)	309	272	197	411	416	528	248	273	461
前年同月比(%)	14.2	32.1	▲ 32.3	9.1	0.8	22.8	14.5	8.9	72.4
有料道路(4路線)通行 量(千台)	617	519	465	623	549	625	544	609	706
前年同月比(%)	10.2	21.3	▲ 1.1	12.3	4.5	11.9	9.8	▲ 0.4	15.6

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		



**静岡県月例経済報告**  
令和4年10月号 通巻558号

発行 静岡県経済産業部  
令和4年10月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>